

== もくじ ==

1 須坂市中心市街地の課題.....	2
2 地域活性化へのチャレンジに向けて（事業目的）.....	2
3 事業概要.....	3
(1) 地域おこし協力隊の行動力・アイデアを活用する.....	3
(2) 空き家の片付けと空き店舗所有者と空き店舗希望者のマッチング....	4
(3) 交流スペースの運営.....	5
(4) 中心市街地の活性化につながる事業.....	5
4 目標とする成果.....	5
5 支援体制.....	6
6 その他.....	6

【注】この計画書は、地域おこし協力隊の募集にあたり、記載した全ての事業を必ず行ってくださいということではありません。

既に、現在活動している地域おこし協力隊の活動内容を中心に挙げているほか、着任した方のこれまでの経験や希望に応じて、担っていただきたいと考えている事業を挙げたものです。



1 須坂市中心市街地の課題

須坂市における飲食店や商店の経営環境は、全国的な傾向と同様に、消費者ニーズの多様化のほかに、24時間営業店やネット・通販・宅配ショッピングなど生活スタイルや価値観に合わせた業態の変化、低価格競争、小売販売業の景気低迷などがあり、また長引く物価高騰の影響でさらに厳しい状況となっています。

須坂市の地域的な状況では、地方都市特有の自動車が欠かせない生活の影響による郊外型大型店の出店、周辺の長野市や中野市への買い物客の流出、市街地の人口減少、店主の高齢化及び後継者不足、商店街の機能低下などが挙げられます。その結果、小売店数は、昭和54年に825店とピーク後減少が続き、令和3年には358店まで大幅に減少しています。

また、現在開発が進められている上信越道須坂長野東インター周辺には、長野県内最大規模となるイオンモール等、大型商業施設が2025年秋にオープンを予定しており、市街地への影響が懸念されております。

● 中心市街地の課題

- ✓ 小規模事業所や商店の売上げ低迷
- ✓ 小規模事業者経営者や商店主を含め地域住民の高齢化
- ✓ 経営の後継者不足

2 地域活性化へのチャレンジに向けて（事業目的）

- ・市街地を中心とした地区における人口減少や高齢化、商業の衰退等の地域課題に対し、地域おこし協力隊による新たな視点や能力、マンパワーを有効活用し、課題の発見と解決に向けて対応する。
- ・地域おこし協力隊が主体的に、空き家・空き店舗等の資源を活用し、リノベーション(物件の価値を高めるための改修)や借りたい人と家主とのマッチングによる空き店舗の解消や新規開業支援を行うとともに、行政や地域がその活動を支援し、雇用や町の賑わい創出、地域コミュニティの再生による活性化を図る。
- ・空き店舗活用を軸とした活動を通じて、自ら起業し須坂市で引き続き活動しているよう地域でのコミュニケーションを積極的に図るとともに、関係者も連携して支援していく。

※ 空き店舗の解消と活用に向けた活動を中心に行いますが、店舗に限定して、空き家は取り扱わないということではありません。

《計画事業項目》

- ・ 地域おこし協力隊の行動力・アイデアを活用する。
- ・ 空き家の片付けと空き店舗所有者と空き店舗希望者のマッチング
- ・ 交流スペースの運営
- ・ 中心市街地の活性化につながる事業 等

事業を通じて地区住民とともに地域の課題対応に向き合う

地域全体のリノベーションにチャレンジ!!

3 事業概要

須坂市では中心市街地を含めた商業活性化策として、「空き店舗対策」は重点課題となっています。この課題に対し、地域おこし協力隊の方には、須坂市の中心市街地をフィールドに、空き店舗という有効な資源を素材として、経験やスキルを活かして町に暮らす方々や学生の皆さんのほか、須坂の町やこの取組みに興味のある人など様々な方々を巻き込んだリノベーションを行うとともに、起業も視野に入れ、地域を活性化していただきます。

この他、空き店舗を活用して既に店舗を開店し市内でお店や事業所を営んでいる方とのコミュニケーションを深め、地域の活性化に活躍するために、積極的に町中に入り込んでいただきたいと考えています。

既に着任している地域おこし協力隊の方と連携し、プロジェクトチームとしてお互いの得意とする部分役割を担いながら相乗効果を生み出し、成果を生みだしていただきたいと考えています。

(1) 地域おこし協力隊の行動力・アイデアを活用する

① 目的

- ✓ 「空き店舗」という資源を駆使し、可能性を秘めたこの町中をフィールドとして、地域の賑わいを生み出す。

② 背景

- ・ 新しい感性と視点を持って地域活性化を目的として、活躍が期待される地域おこし協力隊の制度を活用
- ・ 町中に興味を持って、地域に住む方々とともに各事業にチャレンジ
- ・ 活動にあわせ、常に全国の町の活性化に取り組む様々な事例の情報収集や学びを継続する。

- ・ 須坂市で活かせる知識やスキルを積極的に学び、実践につなげる。

③ 事業内容

- ◇ 地域おこし協力隊の活動拠点である町中を中心に各事業を実行
- ◇ プロジェクト活動のSNS等を通じた情報発信（X（旧Twitter）・Facebook等）
- ◇ 全国の先進事例の勉強、調査
- ◇ 活動に関する研修会や集まりへの参加
- ◇ 学んだ知識やスキルの実践（学校・市民学園等での講義）
- ◇ 自主事業（地域おこし協力隊OB等と一般社団法人を設立し運営など）

【参考：現任地域おこし協力隊の活動例】

● 高校生居場所づくり（LET'S TRYプロジェクト）

高校生が放課後等勉強する場が無いいため、高校生と共に拠点整備、運営資金づくりのため、高校生カフェ（地元菓子店とオリジナル商品開発）、公民館等で講座（スマホ利用等）実施

(2) 空き家の片付けと空き店舗所有者と空き店舗希望者のマッチング

① 目的

- ✓ 空き店舗所有者の方の意向と、新しくお店を開きたい方の要望に応え、空き家の利活用を促進し、地域の活性化を目指す。

② 背景

- ・ ここ数年、須坂市で新しくお店を開きたいという相談が増えている。
- ・ なかでも、新築物件ではなく既存物件を活用して、建物の良さを活かして個性的なお店を始めたいという方々が多い。
- ・ 空き店舗の所有者に、それぞれの事情や理由があって空いてしまっている。
- ・ 空き家状態を解決したくてもできない理由の多くは、「家財が多くて片付けられないから。」賃貸・売却をあきらめてしまう空き家所有者の方も多い。

③ 事業内容

- ◇ 借りたい人と物件所有者とのマッチング（宅地建物取引士の資格がない場合は、賃貸契約の仲介までは行わない。）
- ◇ 空き家・空き店舗の片付けと、片付けで出た家財の処分や活用
- ◇ 空き家対策に取り組むきっかけとして、まずは片付けから始める。
- ◇ 空き店舗物件所有者や不動産事業者などとの相談
市商業観光課だけでなく、町の皆さんとも協力し、開業と空き家活用に向けて相談対応をすすめる。
- ◇ 空き家・空き店舗巡り実施 テナント出店を希望する方を対象に物件を案内する。（年2回程度） 賑わい創出拠点やまじゅうとの連携
- ◇ 空き家・空き店舗相談会 司法書士等による無料相談（オンライン併用）随時

(3) 交流スペースの運営

① 目的

- ✓ 須坂市中町に位置する「地域おこし協力隊事務所」を「人と人をつないで新しい価値を生み出す場」、「挑戦したい人を応援する場」として活用
- ✓ やりたいことがあるけど一人ではできない、須坂に住みたいけど知り合いがいないから不安な方などをサポート

② 背景

- ・ 「地域おこし協力隊事務所」は、かつて製糸工場事務所だった建物を、リノベーション 協力隊の活動拠点として活用

③ 事業内容

- ◇ 「地域おこし協力隊事務所」の運営
- ◇ あわせて、「地域おこし協力隊事務所」と隣接する「賑わい創出拠点やまじゅう」も含めた一体的な活用について検討
- ◇ 「賑わい創出拠点やまじゅう」の指定管理者と協力し、チャレンジショップ利用者等の市内開業に向け空き店舗情報の提供等支援を行う。

(4) 中心市街地の活性化につながる事業

① 目的

- ✓ 地域に飛び込み、それぞれの行事に参加し、地域の皆さんと行動して一緒に地域を盛り上げる。
- ✓ 町の賑わいを生み出すために新たな視点や活動により、地域に力を添える。

② 背景

- ・ 須坂市内では、季節ごとに色々な行事が行われ、積極的に活動されている皆さんが多くいる。
- ・ 行政だけでなく商店街団体や観光協会、商工会議所をはじめ、地域で活躍している各種団体でも、中心市街地活性化につながる各種事業を行っている。

③ 事業内容

- ◇ 須坂市や地区で行われる行事への参加（商店街・有志団体等イベント手伝い）
- ◇ 各種活動への参加（他隊員の活動補助等）
- ◇ 参加状況や活動内容の情報発信（地域おこし協力隊活動報告交流会（随時）、X（旧Twitter）・Facebook等）

4 目標とする成果

- ・ 事業目的の「空き店舗の解消と活用による地域活性化」を達成するために、ま

ず空き店舗の解消活用を成果目標として、活動内容を確認していきます。

町中に人が集い、空き店舗がなくなっていくことで、町の賑わいが生み出されている状態をめざして、活動していただきます。

- ・その先には、自ら起業し、継続して経営することも、目指す成果の一つと考えています。

5 支援体制

- ・須坂市には行政だけでなく、市街地を中心とする地域の活性化や賑わい創出など、それぞれの使命をもって地域の活性化に取り組む組織や団体があります。

この組織や団体の共通する目的を果たすために、地域おこし協力隊の活動を活用し、横断的な組織「地域おこし協力隊活動のための町なかリノベーションat須坂 プロジェクトチーム」により、活動を支援していきます。

- ・各事業の予算は、今後具体的な活動を進める中で、地域おこし協力隊の活動予算の事業配分について、活動を支援するプロジェクトにより協議し、柔軟かつ有効に経費を活用し、目標達成に向けて活動を進めていきます。

6 その他

- ・事業概要は募集時点での計画です。実際に行う事業内容は、採用決定後、希望と実施可能性を踏まえ、改めて商業観光課と相談します。

★事業計画の内容に関する問合せ先 須坂市商業観光課（担当 大峽（おおば））
（Tel 026-248-9005 E-mail syogyokanko@city.suzaka.nagano.jp）